

練馬区立小中一貫教育校推進委員会（第11回） 要点記録

| | | |
|------|---------------------------------|--|
| 開催日時 | 平成22年5月28日(金) 午前10時00分～午前12時00分 | |
| 会場 | 大泉学園桜中学校 2階会議室 | |
| 出席者 | 委員 | 本木薫、中島広美、諏崎啓美、伊藤照代、渡邊裕、中田清、小川善昭、時政千恵子、坂田美由紀、木下川肇、高島邦夫、伊藤隆、元木靖則、室地隆彦（敬称略） |
| | 事務局 | 新しい学校づくり担当課、教育指導課 |
| | その他 | 教育出版 |
| 傍聴者 | 6名 | |
| 案件 | 1 委員の紹介 2 小中一貫教育校の統一校名の検討 | |

委員長

第11回小中一貫教育校推進委員会を開催する。事務局より委員の出欠状況の報告と資料の確認をお願いする。

事務局

本日の出席委員は18名中14名出席で、4名から欠席の連絡をいただいている。

資料1～4、今年度の検討スケジュール、第10回の要点記録の確定版を事前送付した。要点記録は、ホームページ上で公開している。

1 委員の紹介

（新委員の自己紹介）

委員長

事務局から連絡事項をお願いする。

事務局

前回、今年度のスケジュールの日程を示し、了承いただいているが、当初8月27日を予定していた第14回の日程を、8月30日の午後2時～4時に変更する点について、ご了承願いたい。

2 小中一貫教育校の統一校名の検討

委員長

小中一貫教育校の統一校名の検討に移る。事務局から資料の説明をお願いする。

事務局

4月28日から5月17日まで公募した。大泉学園桜小学校、大泉学園桜中学校、大泉学園緑小学校の児童生徒や保護者、教職員、地域の方から498件の応募を頂いた。名称の重複を除いた実件数は270件である。

集計結果であるが、50音順で読み仮名が同じものは集めて応募件数の多い順に並べ、それぞれ理由を記載した

練馬区立の小中学校の校名が分かるように現在の一覧を付けた。応募件数の多寡は一定の参考にするが、多いものに決定するのではないことを、前回の推進委員会でも確認しているので、50音順で作成した。

事務局としては、今日と次回で校名候補を絞り込み、推進委員会として1つに決定していただき、それを教育委員会の協議にかけるような形で考えている。

委員長

本日の話合いで、小中一貫教育校の統一校名を5~10程度に絞り込みたい。小中一貫教育校の統一校名募集の結果について、委員全員から感想、意見を伺いたい。

委員

本当にユニークな名前や、子供たちが考えた斬新な意見もあり、とても興味深く見た。キーワードの「桜」「大泉」「大泉学園」を何かしら絡めた名前が理想的ではないか。

1つ伺いたいのだが、統一校名がどの程度まで使えるのか。例えば、「大泉学園桜小学校」「大泉学園桜中学校」となるのか、あるいは「〇〇学園」だけで良いのか。「学園」が2つ重なると響きがどうなのかということもあるので事務局に伺いたい。

事務局

検討中である。基本的に練馬区の中では検討して決めた統一校名を最大限使っていくことになる。証明書関係は対外的なものであるため、統一校名は使いにくいですが、先行している自治体によっては卒業証書など併記にしている。

一例を挙げると品川では、卒業証書に「日野学園」と書くのと併せて中学校長名を書く形で、両方を記載して発行している。品川以外では、卒業証書は基本的に小学校長、中学校長のための記載という状況である。対外的に証明しなければいけない部分については併記するかどうか、非常に悩ましい。場合によっては開校後も調整が必要かと思う。

教育委員会事務局としては、特にパンフレット等は、練馬区の中では併記はしても統一校名を優先的に使える形をベースに考えたい。

事務局

練馬区内であれば、基本的には統一校名でいけると思う。中学校3年生が進学時に東京都全体にいろいろ資料を出していく時には、当初は桜中学校の名前で出す必要が出てくるかもしれない。

先行事例を聞くと、開校して何年か経てば認知されて、外へ出すものも統一校名で大丈夫という場合もあるようだ。当初は対外的なものについては、法律上の桜中学校の名前を

使わなければいけない場合も出てくるが、全体的にはほとんど区の中の話なので、統一校名でいくことになるであろう。

委員長

他に感想、意見はあるか。

委員

自分が考えている以上にいろいろな名前があり驚いた。みんな一生懸命、真剣に考えてくれたと感じた。

自分としては「桜」は残しておきたい。「大泉学園」もこの辺の地名を言うには一番分かりやすい。私は「大泉桜学園」が良いかなと思った。分かりやすい名前、今まで通りの名前も少し残したい。

「小中一貫教育校」を後に付け加えても良いかとも思ったが、そういった学校もじきに増えてくるであろうし、その辺についてはまた今後決めていけば良いと感じた。

委員

「桜」を残したほうが良い。学校が書類を提出する時には当分併記が必要だということだが、子供たちも同じか？例えば、会場テストを受けに行くとか、学校説明会を聞きに行く時は、当分「〇〇学園大泉学園桜中学校」と記入しなければならないのか？

事務局

対外的な業者テストとか、家庭の考えで外へ行って試験を受ける場合には、基本的には法律上の桜中学校の名前を使ったほうが良い。通常、外に出る時は桜中学校という名前を使うこともあるが、普段は統一校名で何ら問題はないかと思う。

委員

両方書くとなると、例えば「大泉学園桜学園・大泉学園桜中学校」は少し長いので、それも考慮したうえで名前を考えなければいけないと思った。

委員

私もここに多く書かれていることと同じように、子供たちもものすごく親しみをもって「桜」という言葉をぜひ校名に残していけたらと思った。

委員

やはり地域の方が親しみやすく、慣れやすい名前に決めたほうが良いと思う。先般、光が丘で新しい小学校名ができたが、その辺も踏まえて、名前が決まった後の状況なども検討しながら決めていただければありがたい。

委員

今まで桜小中で来た。やはり親しみやすい感じでやられたら良いと思う。ただ、大泉学

園という駅名があって、学園都市になるようなイメージもあったようで、その延長というわけではないが、何か地域に結び付くような在り方だとより良い。

委員

学校名に地域の「大泉学園」がたくさん付いてどうなのかという心配がある。配布資料にも目を通したが、学校名の一覧表を見ると、地名で大体これはこの辺の学校だなというのが分かる。やはり「大泉学園」とか「桜」は残すべきだと思う。

先ほど一貫校を目指しながら名前は統一できていないような話があったが、一本化すべきではないか。どこに行っても自信をもって言えるような名前、体制を作るべきだと感じた。

事務局

確かに一本化するのが一番良いと思う。全国でかなりの自治体が小中一貫教育を進めているが、小中学校を1つの学校とする国の法律ができていない。

中学校と高校の中高一貫校については法律ができていて1つの名前で良いと決まっているが、小中一貫校に関しては今の段階では国の法律上、小学校と中学校が別々になっているので、全国の自治体レベルで一本化してくれとお願いはしているが、それができないのが実情である。

ただ、通常は一貫校としての統一校名で大体どこも通る。両方併記しなければいけないことは、あまり考えなくても良いのではないかと考えている。

委員

大変楽しくいろいろな名前を読んだ。私もこういう学校名が出る前に「大泉さくら学園」の「さくら」という平仮名が頭の中に入ってしまった。「大泉学園」とつなげるか「大泉さくら学園」とするか。「さくら学園」だと字の配置で少し意味合いが違ってくるが、やはり簡単明瞭で頭に入る字面と響きが良い。

委員

子供たちは小中学生ともに、環境からも、今までの校名からしても、「桜」は外せないと思う。子供たちは桜とかかわりながら毎日生活している。

大泉学園町の皆さんがいつも学校に熱い思いを寄せていることを感じている。やはり「桜」と「大泉学園」は取り入れたいと考える。それから今、一貫校でよく「〇〇学園」というのがあるが、どういう学校なのか分からない。小中一貫教育を行っている学校だときちんと伝えられるように、「桜学園」ではなくきちんと明示できればと思うので、最後に「〇〇学園」と付くのは少し考えたほうが良いと思う。

委員

予想を超える数が集まってとてもうれしい。良い校名を付けていきたい。既に「桜学精神」という教育目標の案を説明させていただいた通り、キーワードは「桜」になると思う。推進委員会でもそういう意見を多数頂いたので、その方向性でうまくまとめることが望ま

しいと思った。練馬区初の小中一貫教育校という大きな教育理念が対外的にもメッセージとして伝わるよう、学校名を工夫するべきである。

ユニークですばらしい名前も参考にはなるが、私立の学校と類似のものは分かりづらい。校名を考えるうえでは先行の学校名と似たような名前とならぬよう十分に比較して重なりを避けたい。

委員

最も数の集まった「大泉桜学園」が良いと思う。

その理由はまず、地名が「大泉」と入っていることである。

2つ目は、地域では大泉学園桜小学校とか大泉学園桜中学校とは言わずに、通常、桜小・桜中と言われていて、共に校名を表す「桜」が入っていることである。

それから、一貫校の先行事例の校名の圧倒的多くは「学園」が付いていて、「学園」というのは一貫校の意味を含んでいるのだと思う。

アンケートの中には「〇〇学校」というのがあるが、例えば「大泉学園桜学校」だと単独校のイメージで、「学園」だと小中一貫校のイメージが非常に強くなる。

地名も校名も、また「学園」によって役割も表せるので、最も応募数の多かった「大泉桜学園」が良いと思った。

副委員長

小中一貫教育校に対する皆さんの熱い視線を強く感じる。500近く集まったということ、皆さんの小中一貫教育校にかける思いが伝わってくるというのが第一印象である。

校名を考えるうえで教育目標の「桜学精神」の字を取って「桜」は外せないと思う。「学校」だと1校だが、「学園」は広い感じがする。大泉学園の地名も生かすことで、小中一貫教育校がここにあるということが、より明確になっていくのではないかと。

事務局

欠席の連絡をいただいた時に、「大泉桜学園」に1票入れたいとのことであったので紹介する。

委員長

これからある程度絞り込む。「桜」を「オウ」と読むか「さくら」と読むか。それから「大泉学園」「大泉」という統一校名に入れたい地名。あるいは「桜大泉学園」「大泉」がキーワードとして各委員から支持を得ているのではないかと。中には「大泉桜学園」という意見もあったが、「桜」「大泉学園」あるいは「大泉」という言葉を統一校名に入れることで合意してから、さらに絞り込みたい。よろしいか。

(異議なし)

事務局

「桜」と「大泉」または「大泉学園」の地名が両方入った資料がある。議論を進めやすいように各委員に了承いただければ配付する。

委員長

配付してよろしいか。

(異議なし)

それでは事務局からキーワードを掲載した資料を配付してください。

事務局

1つは「桜」と「大泉学園」のキーワード。もう1つは「桜」と「大泉」が入っているもの。単に最後に「学園」と付いている「桜学園」などは入っていない。「桜」と地名が入っているものを配付した。

委員長

配布した2種類の資料について何か質問はないか。今、配付した資料を参考にして統一校名の協議を進める。

小中一貫教育校の統一校名の候補として残したい名前があれば発言を求める。その際に理由も併せてお願いする。

委員

語尾が「小中学校」というのがかなりあり、6+3で小学校と中学校を合わせたという感じに取れる。私たちは6+3ではなく新しく9の学校を作るので、語尾が「小中学校」は採用しないほうが良いのではないかと思う。

事務局

さきほど委員の発言にあった「学園」について、広辞苑等で調べた限りでは、「学校」「学園」「学院」は、それぞれ基本的には学校という意味である。ただ、「学園」については、例えば幼稚園から大学にいたる各過程の2つ以上を設けている私立、学校法人等の総称の意味があると書いてある辞典もある。一般的な意味のものと、実態としてそう使われていると書いてある辞典の両方がある。「学校」の異称という点ではどの辞典も基本的に同じだが、「学園」を「複合的な」と説明している辞書もある。

委員

やはり「小中学校」という名前はどうかと思う。「大泉」「大泉学園」「桜」を残したいという意見も出ているので、あとは決定機関にお任せしてはどうか。ここはあくまでも意見を言う場であり、決定機関ではない。

事務局

基本的に教育委員会事務局の意向としては、推進委員会で一定の方向性で1つないし2つ程度に絞り込む。そのうえで教育委員会に報告、協議して正式に決定したい。その中で各委員から頂いた意見等を、こういう経過でということ報告したいと考えている。

配付した資料のすべての校名を教育委員会で協議することは非常に難しい。「大泉」が良いのか「大泉学園」が良いのかということもある。最後に「学園」を付ける形のもの、

この中では「桜」と「大泉」に入れて分類してある。絞り込みをお願いしたい。

委員

一番多く出てきたのは「大泉桜学園」であった。私が平仮名を薦める理由は、平仮名に伸びやかな未来性を感じるのと、小中学校の一覧表になった時に、平仮名の学校がないので逆に目を引くのではないかと思うからである。

委員長

漢字・平仮名表記の問題も出ている。ほかにご意見は。

委員

「学園」を途中に入れるのか、最後に入れるのかという話が出てくると思う。「〇〇学校」や「〇〇学園」も結構だが、一貫校はこうだよという一貫性をもつことも必要ではないか。

委員

校名は最初「練馬区立」で始まるだろう。校名を門柱に掲げる時も「練馬区立」から始まる。そうすると仮に今、一番多い「大泉桜」を例にするならば、「練馬区立大泉桜学園」とするのか、「練馬区立小中一貫教育校大泉桜学園」とするのか、「練馬区立大泉桜学園小中一貫教育校」という形で学園が途中にくるのか。今、校名の中核を考えているわけだが、そうした形で協議することも大事ではないか。

委員長

「学園」は途中か最後か、あるいは「小中一貫校」か「小中一貫教育校」か、この辺の言葉の使い方の意見が出た。

委員

「学園」で止めると、練馬区立のどういった位置づけの学校かが分からない。「〇〇小学校」なら名前はともかくすぐ小学校と分かるので、できればそういった名称を付けたほうが今後、活動を進めやすいと思う。「学園」だといろいろ「学園」を名乗る施設があるので、そういうものと分けないと伝わらないのではないか。

事務局

最終的に小中一貫教育校を教育委員会でどう規定するかが絡んでくるが、先行する自治体で教育委員会の規則で定めている場合、例えば、品川で「品川区立小中一貫校日野学園」の名称がトータルで定められている。

武蔵村山市でこの4月に村山学園が開校したが、「武蔵村山市立小中一貫校村山学園」、港区は「港区立小中一貫教育校お台場学園」と規定している。「一貫校」か「一貫教育校」というのはあるが、「〇〇区立小中一貫教育校〇〇学園」とか「〇〇学院」という形である。

「小中学校」の話があったが、八王子では単に「八王子市立みなみ野小中学校」と規定

している例もある。なお、八王子の場合、小学校と中学校がもともと同じ名称だったことで、特に公募せずに教育委員会がそのままその名前を「小中学校」に付けた。地方ではそういうところがほかにもあると聞いている。

委員

「桜」と「大泉」を残すとすると、「桜」プラス「大泉」の資料で「桜」の字が入っていても「さくら」と読んでいないものを外すとか、「小中学校」がおかしいと各委員の意見が統一されるなら、それを外すと少し減る。まだ「学園」のほうは絞り込んでいないが、「桜」プラス「大泉」で7つぐらいに絞れる気がする。

例えば、「大泉桜小中学校」の「小中学校」をやめるのならなしにする。「さくら」という読み方をしていないものを外すかどうか考えると、絞りやすくなる。

明らかに「〇〇小学校」「〇〇中学校」だけのものもあるので、まずそこから省いたらどうか。

委員長

「オウ」と「さくら」の違い、それから「小中学校」を付けるか付けないか、あるいは「学園」を最後に付けるか付けないか。

絞り込みについて具体的な意見をお願いしたい。

まず1番のキーワードの「桜」を「オウ」と読ませるか、それとも「さくら」と読むか。

委員

やはり「桜」にこだわっているので、何かにつけて「オウカ」とか「オウビ」などの違う読み方にするよりは、漢字か平仮名かはこれから検討するにして、あくまでも単独で「桜」が良い。

委員長

漢字か平仮名かの問題はあるが、「桜」の読み方は「オウ」ではなく「さくら」で合意していただけるか。(異議なし)

次に「小中学校」を後ろに付けるか付けないかという点について意見はないか。

委員

「小中学校」にするか「小中一貫校」にするか「小中一貫教育校」にするかは、設立の趣旨として重要な問題である。基本方針では「小中一貫教育校」としているのので、名称の一部に残るのが望ましい。今日絞りきらなくても良いが、「練馬区立小中一貫教育校〇〇」とするか「〇〇学園小中一貫教育校」とするか、それを含んだうえで協議していただきたい。

委員

できれば前に「小中一貫校」と入れて、「小中一貫校〇〇学園」とする。名前は「〇〇学園」でも「〇〇学校」「〇〇学院」でも良い。そうするとこれから小中一貫校が増えて広が

ってポピュラーになってきた時に、「小中一貫校」は外せると思う。そうすると後ろに「小中一貫校」と入っている候補も外せるのではないかと思う。

委員

特定の発言をするのは差し控えるべきだとは思いますが、「〇〇学園」で止まるのはあまり望んでいない。私たちは常に特色ある学校を求められ、またそうあるべきなので、先行する自治体の多くが「〇〇学園」であり、一貫校のイメージが即「〇〇学園」と収まるのはあまり良しとはしない。

先行する自治体が「〇〇学園」だからこそ、練馬区初の学校としての独自性を考えてむしろ多少長くても「〇〇小中一貫教育校」でも良いのではないか。

「学園」では意味不明なので内容のある学校を作りたいと考えている。

委員

今後、小中一貫校は増えるわけである。練馬区は周りにまだ小中一貫校がなくて初めてなので、あまりこだわらずに「練馬区立小中一貫校」と付けるだけでもかなりインパクトがあるので、最初に付けても良いのではないかと思う。

委員長

「小中一貫校」を後ろに付けるか、前に付けるか、途中に付けるかである。もう少し絞り込みたいが、「小中学校」は使用せずに「小中一貫教育校」あるいは「小中一貫校」でいきたいというのは合意いただけるか。

委員

先ほど小中一貫校をこれから増やしていく話があった。私はそういう話を聞いたことがないので、その辺について行政の考えを聞きたい。

事務局

桜小、桜中学校が来年4月、練馬区初の小中一貫教育校として開校する。今後、小中一貫教育をほかの学校に広げ、併せて9年間を見据えた一体型の小中一貫教育校も開校する。小中一貫教育自体は数々の成果が他の先行自治体で出ているので、1校で終わらず進めたいというのが基本的な考え方である。

事務局では、今後、いろいろ規定する中で統一性を取りたいという思いはある。

委員

1つは、「〇〇学園」の名称は国の法律で定められるものではない。先行する自治体が「学園」を使ったことについては敬意を表したい。だからこそ既成の概念にとらわれてはいけないと思う。小中一貫教育校を立ち上げるのは教職員含めて、すべてが概念崩しの連続である。そういう意味で、国の規定がない中で自治体が「学園」と使うのは、1つは概念崩しの挑戦だと思っている。

今回、難しくさせているのは大泉学園の地名である。この「大泉学園」と「桜」を使う

となると非常に作りにくい。「大泉桜学園」の案が出てきて、それはそれで収まりは良いし、それで決まっても違和感はない。

一方で「大泉桜」は、都立大泉桜高校があって、若干類似の感じは否めないなので、その違和感がある。そうすると現行の小学校、中学校の名前をそのまま残して、「桜」も使え、「大泉学園」の地名も残り、その後に小学校でも中学校でもない新しい「小中一貫教育校」という座りが良いと思う。

委員長

それではここで合意を確認する。

「小中学校」の呼び方はせずに「小中一貫校」あるいは「小中一貫教育校」の名称でいくことについてはよろしいか。（異議なし）

では、その方向で合意できたことを確認する。

次に、「学園」を使うかどうか。「学園」の位置の問題がある。何かこれに関連して意見はあるか。

委員

「大泉学園」を町名に入れるのか、学校のほうの学園に入れるのかをみんなで考えることだと思う。大泉桜高校は学園町ではないから「学園」は入らないが、学校名を「学園」にするとダブって入れるわけにもいかないの、町名を残すかどうかを考えるということもあると思う。さもないと「大泉学園桜学園」と2つになってしまう。

委員長

「学園」を付けることについてほかに意見はないか。

委員

やはり「大泉桜学園」などは本当にユニークだと思う。

応募件数の47という数字も捨てがたい。

委員

「大泉学園」か「大泉」と言われると、ここに住んでいる者としては「大泉」は違う地域のような感じがする。やはり「大泉学園」のほうがいい。すると「大泉学園桜学園」と「学園」が2つ続くよりは「大泉学園桜小中一貫教育校」のほうが収まりが良いのではないか。子供たちも今までずっと大泉学園桜小中と使ってきたので、そのほうが良いと思う。

委員

私はどちらでも良いと思う。

広く大泉ととらえて「大泉桜」でも良いし、地域名で「大泉学園桜」でも良いと思う。「大泉学園桜学園」のように「〇〇学園〇〇学園」はどうかと思うのでカットすれば絞り込める。

委員

私はやはり大泉学園の町名を入れたい。もう1つ、日本語の余韻というのは言葉の最初より最後が残る。そうすると、私たちは何とか良い小中一貫教育校を作ろうと思い、やっているのですが、校名の最後は軽い「学園」ではなく、「小中一貫教育校」で締めくくれたらと考える。

「一貫校」か「一貫教育校」かについては、基本方針に「一貫教育」とあるので、「一貫教育校」が良いと考える。

委員長

「一貫校」か「一貫教育校」という絞り込みも必要である。今まで頂いた意見で「大泉学園桜」にするか「大泉桜学園」にするか、「学園」を残していくかについて、少し絞り込みをしたい。学園を2回使うのは望ましくないという意見が多いが、いずれにしろ「学園」は残していく方向で良いか。(異議なし)

次に「小中一貫教育校」か「小中一貫校」か、あるいは最後に持ってくるのが「学園」か「小中一貫校」か。

事務局

教育委員会で協議し決定した基本方針に小中一貫教育校を設置すると書いてあるので、例えば「小中一貫校」と付けるとなるという議論が出るかと思う。仮にこの場で「教育」をなくす案が出た場合には、それも有り得るということで、「小中一貫校」か「小中一貫教育校」かの絞り込みは教育委員会にふっていいかと思う。それを頭に付けるか最後に付けるかは次回でも良いので、もう少し議論していただきたい。

また、現時点で「大泉学園桜」あるいは「大泉桜学園」の2つになっているのか、それともそれ以外に委員の皆様方が残したいものがあるのか、私どものほうで認識できていないので諮っていただきたい。

委員長

「大泉桜学園」「大泉学園桜」以外の呼び方で考えのある方はいるか。

委員

「桜大泉学園」も語順としてはあり得る。議論を踏まえてもう一度私の考えを述べると、練馬区初の小中一貫教育校をこの地に持ってきた当局の基本方針には地域に開かれた、地域の教育力を生かした小中一貫教育校を立ち上げることが明確に述べられていて、私たちはそのつもりで準備に取り掛かってきた。

特に新座市や和光市とも近接しているこの学校の設立の趣旨や郷土性や地域性、この場合地域性と言った場合どこまでの範囲として言うかは難しいが、大泉や石神井とは少し違う大泉学園の地域性があるので、少なくとも「大泉学園」あるいは「大泉〇〇学園」という形で地名を残す前提でキーワードの「桜」も残すとすると、「桜大泉学園」「大泉学園桜」「大泉桜学園」に収れんされると思う。

委員長

「大泉学園桜」「大泉桜学園」「桜大泉学園」以外の意見はあるか。

それでは「小中一貫教育校」を前に出すか後ろに持っていくかは別にして、この3通りに絞り込み、各委員の合意をいただきたい。(一同合意)

漢字か平仮名かという問題もあるが、もう少し絞り込んだほうが良いか。

事務局

現時点で3つより2つに絞り込めるとありがたい。先ほど提案のあった「桜大泉学園」も含めるのか。件数の多寡ではない。それを残すかどうか議論いただきたい。

委員

提案したつもりではなく可能性としてあると思う。その根拠は、校名は「大泉〇〇学園」や「大泉学園桜」で止まってもいいわけで、ただ「桜」で止まるのは収まりが悪いと美意識が働けば言葉の並びとして「桜大泉学園」もあるだろうという意味である。あくまでもこういう語順の考え方もあると示したということである。

事務局

最終的に「小中一貫教育校」を頭にするか最後にするかの関係もあるので今日、結論が出るか出ないかは別にして、「桜」を平仮名にするか漢字にするかを決めていただきたい。

委員長

これはこのまま3つということとする。

「桜」を漢字にするか平仮名にするかに関連した意見はあるか。

委員

豊島区に平仮名で「さくら」はないか？

事務局

「豊島区立さくら小学校」は平仮名である。

委員

「さくら」は仮名で伸びやかだというのは良い発想だと思ったが、豊島区に平仮名のさくら小がある。

委員

小学校ならば平仮名も分かるが、中学生も一緒だからやはり漢字のほうがふさわしい気もする。

委員

平仮名にはこだわらない。豊島区が「さくら」を新しい発想で平仮名をもってきたのか

は分からないが、個人的な意見なので大丈夫である。

委員

個人的にはどちらでも良いが、パッと見た時に平仮名は素敵である。でも、さいたま市など昨今何でも平仮名なので、やはり漢字が良いのではないか。

委員

字の配列で最後に平仮名はおかしいので、「さくら」を平仮名でもってきた時に座りが良いのは「大泉さくら学園」のみかと思う。

委員

先ほど、地名として「大泉学園」を使いたいという意見があった。これを見ると「学園」を分けている表記があるが、地名である以上は分けるのはいかがなものか。「大泉学園桜」か「桜大泉学園」の2つかと思う。区立学校なので、地名を割るのは違和感がある。

委員長

それでは確認する。「桜」は漢字表記で良いか。(異議なし)

「桜」は漢字表記で合意された。

次に「大泉学園」を分けるか否か。町名なので分けないほうが良いのではないかという意見があった。

事務局

「桜」は漢字ということ。あとは「小中一貫教育校」を最初に付けるのか、最後に付けるのか。3×2で6通りに絞り込めた。次回、検討していただきたい。

委員長

「一貫校」または「一貫教育校」についてはいかがか。

事務局

教育委員会としては、方針の中で「一貫教育校」という言い方をしているので、順当にいけば教育委員会の協議で「一貫教育校」になる。「教育」を取ったほうが良いという意見が多ければ、教育委員会に報告して協議する段取りで進める。

委員長

「一貫教育校」または「一貫校」の表記に関連して意見はあるか。

委員

区が「小中一貫教育校」という目標で作っているのもそのままだが良い。

委員長

ほかに関連した意見はないか。「一貫校」の名称のほうがいいという意見はあるか。

委員

それは出ていない。

委員長

「小中一貫教育校」の表記でいくことでよろしいか。(異議なし)
統一校名について、全体を通して意見はないか。

委員

校名の確認をしていただきたい。

委員長

それでは確認する。具体的に「大泉学園桜」「大泉桜学園」「桜大泉学園」の3つに絞り込み、「小中一貫教育校」で、そして「桜」は漢字表記でいくことが確認できた。

「小中一貫教育校」を前に持ってくるか後ろに持ってくるかは次回、意見を頂きたい。

大泉学園の町名を分けるかどうかで3つが2つになるが、これは次回で良いか。先ほど大泉学園の町名を残したほうが良いという意見があったが、これは2つに絞り込んだほうが良いか。

あるいは「大泉」と「学園」の間に「桜」を入れて「大泉学園」と続かなくても良いという意見の方がいたら確認したい。

委員

これは生きているということで良いのではないか。

委員長

この3つに絞り、次回、さらに意見を深めていくということでよろしいか。今日頂いた意見、合意事項をまとめた。何かほかにも付け加える点はあるか。

委員

次回の資料では、「練馬区立」から入れて校名を提案していただきたい。

委員長

「練馬区立」の取り扱いについても次回意見をいただく。
それでは統一校名についての検討はこれで終了する。

委員長

大泉学園桜小、中学校の取り組みについて情報提供があればお願いします。

委員

現在、立ち上げに向けて準備しているが、前年度の動きがとても大事になる。その中でいくつか報告する。

中学校の部活動に小学校 5、6 年生の児童が参加する小中一貫教育校に向けての取り組みを現在進めている。昨年度は実施時期を 4 期間に分けて取り組んだ。残念ながらインフルエンザの問題があり一部中止した。

昨年度の取り組みを生かして今年度は、桜小の 6 年生には来週いっぱいを入部期間とし、6 月 15 日（火）から本入部を予定している。5 年生も 10 月から月 1～2 回、1～2 週間ぐらい中学校の部活動に参加する予定である。5 年生は 6 期間、6 週間ぐらいを予定している。そういう形で滑らかな接続あるいは部活動体験を先行実施していきたいと考える。

言うは易く行うは難しで、例えば小学校の児童の特に下校の安全確保の難しさ、それから部活時にけがをした場合には初期対応が必要になる。それから保証の問題もある。そうした課題を小と中の教員が整理して、共通の基盤でがんばっていく。

教員にとっての概念崩しである。まず実際にやってみる。やってみようと思う中で何が課題で、うまく実施するにはどうあるべきか。部活は児童にも良さがあるが、われわれ教職員にとっても、新たな挑戦を含めて非常に偉大な研究・研修になるのではないかという思いで準備を進めている。

今後の小中一貫教育校では 5、6 年生から始めたい。そうすると最大 5 年間、部活の体験ができることになる。絵に描いた餅にならないようがんばりたい。5 年から始めれば中 1 では既に 3 年間、仮に同一の部活をやったとすればそれだけ専門性や友だちとの人間関係、交友関係も高まる。この協議会でも意見があったが、昔と違って子供たちの遊ぶ場所がないなどの問題も含めて、高学年になれば部活動に取り組むことが外遊びに代わる充実した活動になるだろう。また現行の中学生にとっても、部員が増えれば活性化にもつながる。

委員

緑小から桜中まで 25 分ぐらいかかるので、緑小は保留でお願いします。

委員

昨年度に比べて準備が進み、スピードアップでやっている。今、小学校は校庭で運動会の練習をしているが、6 年生の組体操を 6 月 12 日の中学校の運動会で中学 2 年生と一緒に披露できるように、準備を進めている。この間も中学の体育館に小学校 6 年生が来て、中 2 と小 6 を両校の教員が指導した。中学になるとこのように子供たちに働きかけるのだなど大変勉強になった。

開校を待たずに両校の子供と一緒に運動会の練習をし、一緒に披露できるのは大きな進歩だと思う。ぜひ期待して見ていただきたい。

音楽の教員が来年度の音楽会の原案に目を通してくれと持ってきたが、どう実施したら 1 年生から 9 年生が同じ日にできるかという、大変積極的な案であった。教員もがんばっていて、時間を超えて両校がそれぞれの分科会で集まり、何度も検討して進めている。

最近、中学の教員が小学校の職員室に来ることが多くなり、両校の教員の顔と名前が一

致してきた。それがこの学校づくりの第一歩ではないかと思う。

委員長

事務局から何かあるか。

事務局

若干、委員が替わったので、今年度のスケジュールを配付した。今日、統一校名を検討したが、今年度、推進委員会では統一校章、統一校歌についても検討する。併せて小中一貫教育校連絡会に両校の先生方全員が入って学校経営等の準備を進めている。

その中で検討されたものを随時報告いただくのと併せて、推進委員会の下部組織、小中一貫教育資料作成委員会でも検討を進めているので、予定では8月に報告を入れていただく。

委員長

本日の案件については終了した。全般にわたって何か言い漏らしたことがあればお願いする最後に次の案件及び開催日時について説明願いたい。

事務局

本日、皆様方の協力で、予想を上回るスピードで統一校名を検討できた。次回1つに絞り込めればありがたい。

統一校名が決まると、統一校章や統一校歌の話になる。それについて推進委員会でどういう形で検討していくかを相談したい。何らかの検討いただける資料を出したいと思う。

委員長

第12回推進委員会は平成22年6月18日金曜日の午前10時から、大泉学園桜中学校2階会議室で行う。開催通知は後日送る。

以上で第11回小中一貫教育校推進委員会を終了する。